[多摩動物公園](http://mainichi.jp/ch151015763i/%E5%A4%9A%E6%91%A9%E5%8B%95%E7%89%A9%E5%85%AC%E5%9C%92)

アジア唯一「タスマニアデビル」公開　東京

多摩動物公園（東京都日野市）で１１日、オーストラリア・タスマニア島だけに分布し、絶滅危惧種であるタスマニアデビル２匹の一般公開が始まった。黒い体色と胸の白い帯の模様が特徴。国内では２０年ぶりの飼育となり、現在は同公園だけ。アジアでも唯一という。

* [**【動画で見る】多摩動物公園で一般公開が始まったタスマニアデビル**](http://mainichi.jp/movie/?id=4935856740001)
* [**【写真特集で見る】絶滅危惧種の生き物たち**](http://mainichi.jp/graph/zetsumetsu/species2015/003.html)

　体長は約６０センチ。カンガルーやコアラと同様、生まれた子どもを腹の袋で育てる有袋類のうち、肉食性としては最大だ。かつては豪州全土で生息したが、家畜を襲う害獣と疑われ減少。１９９６年以降、顔や口などにかみ傷による特異な腫瘍ができ、食べることが難しくなり死ぬ病気が広がり、絶滅の危機を迎えた。

　タスマニア州政府は２００３年に保全プログラムを設け、飼育して繁殖した個体を、病気にかかった個体のいない地域へ野生復帰させる取り組みを進めてきた。１３年からは豪州外の動物園での飼育を呼びかけ、アジアで唯一、同公園での飼育が決まった。

　公開されたのは、先住民族の言葉で「マルジューナ」（星）と「メイディーナ」（影）と呼ばれる雌の２匹。福田豊園長が経緯を説明した後、２匹が育ったタスマニア州の保護施設「トロワナ・ワイルドライフパーク」のアンドルー・ケリー園長が「日本の人たちが深く関心を持ち、うれしく思う。２匹は社交的で好奇心が旺盛。将来は多摩で繁殖する機会があると思う」と話した。【斉藤三奈子】